

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ゲストサービス I							
学科・コース	コンシェルジュ科							
担当教員	大石 麻美							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
演習	・講義	1	通年	必修	60	2		
授業目的 到達目標	テーマパークを中心にした、ゲストの心理と期待とは何かを知り、必要な表現力を習得します。ホスピタリティの在り方についてケーススタディ・ロールプレイングから学びます。							
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	授業説明・自己紹介・ゲストサービスとは						
	3～8	テーマパークの創業と歴史			① テーマパークの歴史を系統立てて理解できる			
	9～14	キャストの職種理解			② ゲストサービスの構成要素と優先順位を理解できる			
	15～20	キャストの行動指針			③ 幅広い年齢のゲストへの基本的な対応ができる			
	21～26	キャストの育成			④ ゲストのご要望を察し行動できる			
	27～32	「テーマパーク」と「遊園地」の違い			⑤ 特別な一日の演出に対する発想ができる			
	33～38	テーマパークの職種			⑥ サービスリカバリーを理解し行動できる			
	39～44	マジカルモーメントとは何か			⑦ 幅広い語彙力・表現力を習得できる			
	45～50	サービスリカバリーとは何か						
	51～56	冬季研修準備						
	57～60	総括						
成績評価方法	平常点（30％）提出課題（30％）発表・ロールプレイング（40％）							
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「ディズニーランドであった心温まる物語」							
関連科目	ゲストサービス II							
その他	各自毎時間PCを持参する事。※実務経験のある教員が担当する科目である。							

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	表現技法基礎						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	太田玲子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	TPOに応じた幅広い表現力の習得を目的とし、「聞き取りやすく伝わる声」「感じのよい話し方」を身につける為に音声表現の基礎を学びます。発声、滑舌、間、強弱、スピード、抑揚などを理解し、さまざまな文章に触れることで現場で求められる表現力を磨き音声スキルの土台を作ります。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション 表現とは 音声表現入門					
	3～6	基本発声練習・短文 1			①基礎を理解し安定した声で話す事ができる		
	7～10	基本発声練習・短文 2			②文章を正確に丁寧に読み上げる事ができる		
	11～14	基本発声練習・中文 1			③言葉に感情をのせて話す事ができる		
	15～16	確認小テスト			④抑揚、間など文章に合わせて使い分けられる		
	17～20	基本発声練習・イベント			⑤好印象を与える音声表現ができる		
	21～24	基本発声練習・館内アナウンス			⑥自声を理解し改善にむけて取り組む事ができる		
	25～28	基本発声練習・ナレーション初級			⑦正しいプロの発声法が身につく		
	29～30	科目修了試験			⑧人前で話す事が怖くなくなる		
					⑨幅広い表現力が身につく		
				⑩TPOに応じた伝え方ができる			
成績評価方法	平常点（30％）各発表（30％）科目修了試験（40％）						
使用テキスト ／教材	配布プリント						
関連科目	表現技法応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ユニバーサルランゲージ I						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	ANNE CHRISTINE GALLARDO						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	全てのお客様にご満足いただくために、幅広いおもてなしの現場で求められる接客英会話を学びます。様々な場面を取り上げロールプレイングを行うことで職業への理解も深めます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
		Course and Vocabulary Introduction *glossary					
	1～4	Recommending a Tour				① Provide recommendations in English	
	5～8	Taking a Tour Booking				② Handle Tour Reservations	
	9～12	Escorting a Tour				③ Assist at Check-In using English	
	13～18	Welcoming International Tourists				④ Deal with customer complaints in English	
	19～24	Taking an Airline Reservation				⑤ Assist customers using simple and clear English	
	25～28	Giving Flight Information				⑥ Explain important information in English	
	29～32	Helping Passenger Check-in				⑦ Use polite and professional English expressions	
	33～36	Working at the Boarding Gate				⑧ Able to recognize English words used in tourism setting	
	37～40	Offering In-flight Services					
	41～46	Taking Room Reservations					
	47～52	Welcoming Guests					
	53～56	Dealing with Complaints					
	57～58	Helping Guests					
59～60	Sending Guests Off						
成績評価方法	平常点（45％）提出課題（15％）科目修了試験（40％）						
使用テキスト ／教材	English for Tourism Professionals Student Book						
関連科目	ユニバーサルランゲージⅡ、異文化接遇						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	異文化理解 I						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	グローバル社会において求められる異文化理解力の基礎を身に付けることを目標とする。世界各国の文化を比較しながら自国文化への理解を深め、世界情勢や国際問題に対する多角的な視点を養う。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 ○	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク ○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション ○		PBL ○		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは					
	3~4	ハイコンテキスト文化・ローコンテキスト文化			① 異文化理解の基本を理解する		
	5~6	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義			② ローコンテキスト文化・ハイコンテキスト文化の知識の習得		
	7~10	世界の宗教・多文化共生社会			③ 移民についてのトピックを理解できる		
	11~12	食文化・食習慣・風土・歴史			④ 世界三大宗教・世界の宗教についての基礎知識		
	13~16	プレゼンテーション①			⑤ 世界の食文化の基礎知識		
	17~18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション			⑥ 言語と文化についての基礎知識		
	19~20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財			⑦ 世界遺産・文化財についての基礎知識		
	21~22	美術と芸術			⑧ 世界の美術・芸術についての基礎知識		
	23~24	世界の経済と情報社会・デジタルで変革する社会			⑨ 世界経済の基礎知識		
	25~30	プレゼンテーション②			⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションができる		
成績評価方法	授業レポート（50%）プレゼンテーション（30%）平常点（20%）						
使用テキスト ／教材	授業内で配布する資料						
関連科目	比較文化研究Ⅱ						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	コンシェルジュI						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	諏訪 好枝						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	接客業のみならず、どんな分野でも対応できる、社会人として身に付けておきたいスキルを身に付け、マニュアルにとらわれず自分自身で考える思考力と行動力を目指して行きます。						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="checkbox"/>	フィールドワーク <input type="checkbox"/>	
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="checkbox"/>	グループワーク <input type="checkbox"/>	ロールプレイ <input type="checkbox"/>	
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL		模擬授業 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>	
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・自己紹介・コンシェルジュとは					
	3～8	基本マナーの必要性・礼儀作法の理解			① 礼儀作法の必然性と意味を理解できる		
	9～20	社会人として必要な基本常識			② 一般常識・社会人としての常識が理解できる		
	21～26	話す・聴くための語彙、表現とは何か			③ 正しい言葉遣い・表情・姿勢が身につく		
	27～32	会話・対話の表現についてのオリジナリティとは			④ 自分で考え行動に移す対応力を意識できる		
	33～38	電話対応について			⑤ 話し方・聴き方のスキルを習得できる		
	39～44	スピーチ・発表のスキルとは			⑥ スピーチ・会話のスキルが習得できる		
	45～50	クレーム対応とリカバリーについて			⑦ チームで目標に向かい実現する力が身につく		
	51～56	発表会準備					
	57～60	学習成果発表会					
成績評価方法	学習成果発表会（30%）小テスト（20%）平常点（50%）						
使用テキスト／教材	オリジナルテキスト・「入社1年目ビジネスマナーの教科書」						
関連科目	コンシェルジュII						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	茶道・着付け						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	見原 文子・中村 由美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	日本の民族衣装である着物と茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞い身に付けることを目標とします。ビジネスシーンにも活かすことができるよう反復練習を行います。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	着物の基礎知識 歴史と種類 名称と畳み方					
	3～4	浴衣の着付け 半幅帯で文庫結び①			① 着物の種類を知ることが出来る		
	5～6	浴衣の着付け 半幅帯で文庫結び②			② TP0に合わせ着物を選べるようになる		
	7～8	着物の着付け 長襦袢と着物の着方			③ 着物が自分で着れるようになる		
	9～10	着物の着付け 袋帯で二重太鼓			④ 着物や帯を畳めるようになる		
	11～12	着物の着付け 染めの着物に二重太鼓			⑤ 紐や帯の結び方が習得できる		
	13～14	着物を着た時の歩き方と座り方 和室のマナー			⑥ 美しい所作を身に付けることができる		
	15～16	茶の湯の歴史 お点前の拝見			⑦ お客様に気持ちの良い時間を提供できる		
	17～18	茶道具説明 菓子の取り方			⑧ 亭主がお点前をしやすい気配りができる		
	19～20	畳の上での歩き方 お辞儀の仕方			⑨ 菓子や道具から季節を味わうことができる		
	21～22	準備と片付け			⑩ お抹茶を点てることができる		
	23～24	割り稽古（袱紗の扱い）					
	25～26	割り稽古（茶筌通し）					
	27～28	お点前（客の作法・千家十職について）					
29～30	茶会						
成績評価方法	平常点（25%）授業態度（25%）実技の習得度（50%）を踏まえ評価いたします。						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト、講師配布プリント						
関連科目	華道・総合ブランド理解						
その他	髪は纏め、シンプルな服装が望ましい。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	EQ開発						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	松永祐子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	社会人として必要となる自己調整力をさまざまな角度から学んでいきます。理論を理解するだけでなく、日常で実践することにより、自分らしい幸せな生き方・働き方を見つけていくことを目指します。自己診断ツールを活用した授業もおこなっていきます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・自己紹介					
	3～4	ウェルビーイング			①自己調整力を高めることができる		
	5～6	強みを知り活かす方法（VIA-IS診断）			②他者との関係づくりのコツが分かる		
	7～10	内的コントロール心理学①（欲求と願望）			③自分の感情を自分で調整できる		
	11～14	内的コントロール心理学②（行動のしくみ）			④自分の強みの理解と活用法が分かる		
	15～16	怒り感情の取り扱い（怒りの仕組み）			⑤出来事への正しい認知と行動が選べる		
	17～18	怒り感情の取り扱い（怒りへの対処）			⑥ストレス耐性を養うことができる		
	19～22	ストレスマネジメント			⑦心の回復力を高めることができる		
	23～26	レジリエンス（心の回復力）			⑧自他への思いやりの効果を理解し実践できるようになる		
	27～28	コンパッション（自他への思いやり）					
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	平常点（40%）提出課題（30%）科目修了試験結果（30%）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「あなたが日々が発する言葉が人生を変える！」ルイズ・ヘイ/駒野宏人著						
関連科目							
その他							

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ホスピタリティマインド						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	ホスピタリティの基本概念とその重要性を理解し、他者への配慮や多様な価値観への理解を基盤としたコミュニケーション能力を高めていきます。相手の立場や状況を踏まえて行動できる力を養うことで、どのような分野でも活かせる実践的なホスピタリティマインドを身につけることを目指します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	授業説明・ホスピタリティとは					
	5～8	これからの社会とホスピタリティ			① 相手に寄り添った行動ができる		
	9～14	ホスピタリティ・マインドの育て方			② 観察力を高め、洞察力を鍛えることができる		
	15～18	ホスピタリティ・マナー			③ 柔軟な提案力の向上が期待できる		
	19～26	ホスピタリティ・コミュニケーション			④ コミュニケーション能力の向上が期待できる		
	27～36	ビジネスにおけるホスピタリティ			⑤ 傾聴力を養うことができる		
	37～58	プレゼンテーションスキルを高める			⑥ 情報収集スキルの習得		
	59～60	総括			⑦ 効果的な伝え方・表現力の習得		
					⑧ 語彙力の向上が期待できる		
					⑨ 自分自身を客観的に評価することができる		
				⑩ 自信をもって人前に立ち発言することができる			
成績評価方法	平常点 (30%) 小テスト (20%) プレゼンテーション (20%) 提出課題 (10%) 科目修了試験結果 (20%)						
使用テキスト ／教材	「社会人ホスピタリティ 要点チェック&確認問題・オリジナルテキスト						
関連科目	総合ブランド理解						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	カラーマーケティング						
学科・コース	コンシェルジュ科						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	色彩の基礎理論から、心理効果、マーケティングにおける色の活用法など横断的に学びます。多様な領域で色が果たす役割を分析し、論理的に説明できる力を養い、社会で活かせる色彩リテラシーの育成を目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 ○	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク ○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	授業説明・色彩の力			① 色彩の基礎を理解することができる ② 色のイメージを言語化することができる ③ 色彩心理の特性を理解し、考察できる ④ 色彩の調和とバランスを理解し、提案できる ⑤ シチュエーションに応じた色彩提案ができる ⑥ 色の選択理由を論理的に説明できる ⑦ 幅広い語彙力と表現力を習得できる ⑧ 色彩感覚の向上が期待できる		
	3~6	色の基礎知識					
	7~16	色のイメージと心理効果					
	17~24	カラーコミュニケーション					
	25~28	カラーブランディング					
	29~30	総括					
成績評価方法	平常点（30％）発表（20％）提出課題（20％）科目修了試験結果（30％）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト、新配色カード158 a、色鉛筆、はさみ、のり、PC						
関連科目	リテールマーケティング						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						